



ここにいるから

Vol. 21

発行 2023.3
発行者 天草漁協



何を食べているかな？



冬はいっぱい食べる!?

イルカの基礎知識 水温と食欲

イルカは1日あたり体重の約5%のエサを食べます。(イルカの種類による)天草に住んでいるミナミハンドウイルカの体重は約200kg～250kg。大人のイルカの場合で

1日あたり10kg～12.5kg

のエサを食べる必要があると推測できます。主に魚を食べますがイカも好物のひとつ。そして食べる魚の種類はとて多く、簡単に言うと「なんでも食べる」食いしん坊!!

イルカウォッチングで、エサをくわえているイルカに遭遇したら、何をくわえているのか、よくチェックしてみてくださいね。船長さんなら、魚の種類を見分けることができるかも！
(数字表記の見やすさで横書き)



天草の魚、おいしい!

さて前号で紹介した、体温維持の役割がある脂肪層(ブラバー)ですが、イルカの種類や生息域によって厚みが変わります。温かい海に住むイルカ(クジラも同じ)の脂肪層は薄く、寒い海に住むほうが厚い。そして、同じ種類のイルカでも、生息場所や季節による変化が明らかになっています。

水温による脂肪層の変化は、ヒトが場所や季節によって服装をかえるのと同じかもしれません。イルカの場合は脂肪の厚みを調整するために、どうやら食べる量を変えているというのです!ある飼育イルカの調査によると

水温が ↑ 11.5度 から ↓ 24.3度 になると

食べる量が ↓ 4.5% から ↑ 3.0% に低下する

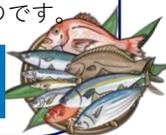
このことから、真夏はあまり食べ過ぎると暑くてばててしまったり、冬に向けてはたくさん食べることで脂肪を蓄える必要があるということが推測できます。

海ゴミとイルカ

イルカたちは、エコロケーション機能を使って、エサとなる魚やイカの、大きさや厚み、質などがわかっていると言われています。そのため、現在、海のプラスチックごみが世界的に問題になっていますが、イルカが“間違えて”ゴミを飲み込んでしまうことは考えにくいわけです。

ところが、マイクロプラスチックは、そういうわけにはいきません。エサとなる魚がすでに汚染されていたとしたら・・・そこまでは判別できません。それと知らずにイルカは、魚を丸飲みしてしまいます。そのようにして、結局イルカもマイクロプラスチックを取り込んでしまうのです。

海をきれいに!
ゴミはゴミ箱に!



Amakusa Iruka Lab SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ

amakusa_dolphin

検索

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!